

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓太	電話番号	0852-22-6776
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	美術品等取得		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	優れた美術に触れる機会を提供する。	
事業概要	・県民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、美術品等収集方針に基づき県立美術館及び石見美術館の美術品及び美術資料等を取得する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	美術品取得点数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		15.00	15.00	15.00	15.00	
式・定義	取得点数		実績値	141.00	29.00	32.00	778.00		
			達成率		273.30	120.00	5.187		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	400	400
うち一般財源(千円)	400	400

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・美術品等取得基金の現金残高は25百万円しかなく、平成22年度以降の購入は無。近年は寄附のみによる取得となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・これまで築いた人脈により平成26年度は、著名な作家からの寄贈や多量・高額の寄贈があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・美術品等の購入の財源
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・寄附による美術品等の取得の継続
 ・ふるさと納税のメニューの一つとして登録し購入財源を確保する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）